

簡易プログラム

一般講演

SDG 講演

ポスター

高校生ポスター

シンポジウム等

令和2年度日本水産学会春季大会講演簡易プログラム

3月27日（金）午前

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00	101 空撮用ドローンを用いた潮目検知の検討 幸加木裕也	201 津本式急速灌流処理によるマサバの死後脱血 中村柚咲		401 播磨灘におけるイカナゴ産卵数の減少 魚住香織	501 南極海の鯨類やオキアミ類の分布と海洋環境 和田 淳
9:15	102 ドローンを活用したカワウ被害対策 坪井潤一	202 真空包装した加熱後冷蔵ブリ肉の臭い 谷本昌太	301 ゼブラフィッシュ卵黄多核層における糖新生 古川史也	402 イカナゴ肥満度へのホルマリン固定の影響 西川哲也	502 クロミンクジラ成熟雄の回遊生態の推定 石川啓史
9:30	103 ドローンによる電波発信機装着魚の探索 棟方有宗	203 定置魚倉水温と漁獲物温度および魚肉品質 橋本加奈子	302 魚卵へのタンパク質の導入 岩泉雅樹	403 イカナゴの産卵特性に及ぼす影響 米田道夫	503 S-net に記録されたナガスクジラの鳴音 吉田林太郎
9:45	104 ドローンラジオテレメトリー 田中智一郎	204 出荷前処理が魚肉中硝酸含量に及ぼす影響 栗原紋子	303 RA in flounder asymmetric pigmentation 陳 其然	404 福島県北部海域におけるイカナゴの年齢構成 守岡良晃	504 飼育カマイルカの集団遺伝構造 鈴木美和
10:00	105 定常流下における高層魚礁後方の流速分布 中上貴史	205 バイオサーモメーターによる鮮度評価 橋口怜央人	304 異体類成体型色素胞の前駆細胞 佐藤航大	405 仙台湾におけるヒラメの資源量増加による被食量推定 木所英昭	505 ミナミハンドウイルカの年齢と斑点の関係性 八木原風
10:15	106 浮体構造物周辺におけるシイラの移動追跡 高橋千代	206 漁港での昇温がゴマサバの品質に及ぼす影響 山本雄介	305 GFPによるヒラメ色素前駆細胞の可視化 三宅みなと	406 仙台湾におけるヒラメ食性の経年変化 櫻井慎大	506 チシマラッコの採餌環境と餌選択性 三谷曜子
10:30	107 人工魚礁集魚の画像解析による評価 脇野大志	207 クエタマ成熟魚の品質評価 濱田奈保子	306 色素胞分化に関与する <i>dhfr-like</i> と <i>hdd</i> 横井勇人	407 安定同位体比による食物連鎖構造の把握 富樫博幸	507 潮下帯のジュゴンの摂餌タイミングの解明 西山啓太
10:45	108 音響学的手法によるイトヒキダラの分布推定 鈴木勇人	208 凍結前鮮度が冷凍イワシの品質に及ぼす効果 守谷圭介	307 ホシガレイ体色の背地順応と MCH の作用 山口大梧	408 メガネカスベの炭素・窒素安定同位体比特性 堀本高矩	508 ジュゴンの摂餌痕自動検出技術の開発 倭 千晶
11:00	109 スルメイカの広帯域音響散乱特性の測定 工藤尚之	209 サケ科 HpaI family の配列解析 崔 巍	308 網敷き飼育によるヒラメの着色型黒化の防除 小野山 剛	409 経験水温がマツカワの産卵間隔に及ぼす影響 岸本優輝	509 アカウミガメ亜成体の三陸沖での採餌行動 新村誠也
11:15	110 無鰾魚の音響散乱特性の検討 閻 乃箏	210 脂肪酸組成とサクラエビの食性及び産地判別 平塚聖一	309 給餌条件がキンギョ各種ホルモンに与える影響 楊 婷舒	410 ソウハチの消化吸収速度 西尾燦吾	510 北海道渡島半島太平洋岸放流海亀の回遊経路 清水 晋

3月27日（金）午前

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
601 ゼブラスナウトシーホース 稚魚の育成 水上雅晴	701 クエの学名 星野浩一	801 内湾養殖漁場での湧昇現象 山口晴生		Keynote 1 Fisheries Resource Governance: Links Between Fisheries Forensics and Sustainability Gary R Carvalho	9:00
602 ワムシの生産・遊泳行動に 及ぼす pH 制御の影響 園部真季	702 アユにおける放流後の行動 特性の変化 中嶋正道	802 竹炭及びペントスを併用し た底質改善技術 伊藤克敏			9:15
603 アルテミアの微細藻類に対 する摂餌特性 山下和宏	703 トラフグ放流魚の天然海域 中での再生産 片町太輔	803 船底用防汚物質のマガキに 対する影響評価 隠塚俊満		Keynote 2-1 American Fisheries Society Efforts on Climate Change Science Scott A Bonar	9:30
604 飼育方法がカイアシ類の繁 殖に与える影響 下津佳乃子	704 トラフグの低魚粉飼料育種 に向けた代替飼料の探索 林 子杰	804 沿岸域における化学物質の 実態 張野宏也		Keynote 2-2 The American Fisheries Society Standard Methods Scott A Bonar	9:45
605 微細藻類によるマダイ用無 魚粉・無魚油飼料の開発 Taekyoung Seong	705 マサバおよびゴマサバの性 判別法の開発 谷 怜央人	805 水俣病の発症リスク 松田裕之			10:00
606 植物性飼料原料のエクスト ルージョンの影響 Rena Taan	706 サケ精子の受精能の比較 山口 文	806 漂流物移動 - 津軽海峡から ハイダ・グワイ島 嶋田陽一		SDG01 Thyroid hormone receptor involved in epinephrine- induced metamorphosis Yi-Feng Li	10:15
607 ウナギ仔魚飼育システム 張 成年	707 ドチザメ Ig 産生器官の遺伝 子解析 室谷冬香	807 生物内マイクロプラスチック 観測手法の開発 田野入 開		SDG02 Larval settlement of the mussel XIAOYU WU	10:30
608 ウナギの卵成熟・排卵誘導 および卵質 田中寿臣	708 細胞質置換クローンドジョ ウ雌の卵形成 遠藤 充	808 マイクロプラスチックから の PAHs 溶出 伊藤真奈		SDG03 N D R in the S and P of J and H P O, <i>P. fucata</i> , and Its R with the A E C Gunawan Muhammad	10:45
609 ウナギ仔魚の大小選別法の 開発 岩崎隆志	709 新奇モデル生物カタクチイ ワシの樹立 坂口圭史	809 マイクロプラスチックの探 査 笹倉豊喜		SDG04 Gonad development of urchins in the Japan Sea coast of Aomori Daisuke Sugiura	11:00
610 完全養殖ウナギの生物学的 特性 岡村明浩	710 新奇モデル生物カタクチイ ワシの現状と展望 坂口圭史			SDG05 The flagellar gene regulates biofilm formation and mussel larval settlement Xiao Liang	11:15

3月27日（金）午後（前半）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
13:00					
13:15					
13:30	111 AquaMagicを用いた魚群密度推定 松尾行雄	211 非加熱水産練り製品の製造技術 高橋希元	310 光周期によるサクラマスのスモルト化の誘導 鈴木章太郎	411 原発温排水に依存した魚類・無脊椎動物群集 益田玲爾	511 アオウミガメ孵化幼体の脱出行動 西澤秀明
13:45	112 科学魚探システムと ADCP の統合システム Andersen Lars	212 カナガシラの火戻り誘因プロテアーゼ 大久保 誠	311 シロザケ幼魚の温度耐性メカニズムの解析 日下部 誠	412 東北沖底魚構造構造の長期変動 安宅淳樹	512 深層学習を用いたヒラメの自動的な行動分類 貝羽良介
14:00	113 エコグラムに見られる海洋構造の影響 呂 振	213 坐りゲル形成の新たな定量評価 阿部周司	312 サクラマス IGFBP-1a と成長率の関係 金子信人	413 サケの移動経路に影響を及ぼす要因 横森洋治郎	513 ヒラメの長期深度記録からの突進遊泳の抽出 河邊 玲
14:15	114 水槽底面色の対比によるマアジの群行動 大沼瑞保	214 エゾイソアイナメ肉糊低温坐り 植村美咲	313 サケ科魚類 IGFBP-1 の作製と機能解析 長谷川竜也	414 潟湖に放流されたサケの移動様式 卜部浩一	514 魚セシウム濃度低減機構:AUV-バイオテレメトリ位置特定 立田 穰
14:30	115 ナルトビエイの経験塩分 渡辺伸一	215 魚肉肉糊坐りの比較 渡部終五	314 トラザメの産卵周期と性ステロイドホルモン 兵藤 晋	415 小鍾川におけるサケの産卵床内環境 川上達也	515 名古屋港スナメリ音響モニタリング 松波若奈
14:45	116 沖合養殖ブリの行動モニタリング 原 健介	216 ミオシン重鎖におけるTGase 反応領域 潮 秀樹	315 ウナギの性特異的遺伝子の発現解析 稲葉博之	416 アメマス海洋依存度の地理的変異 後藤暁彦	516 ジュゴン鳴音の時間周波数による個体群比較 小泉慶次郎
15:00	117 網成り・入網魚群観測システムの特徴 稲田博史	217 冷凍ブリフィレー中のミオシン変性 加藤早苗	316 メダカ性分化におけるPPAR α の機能解析 原 誠二	417 陸封型アユ種苗造成試験 中久保泰起	517 ジュゴン発声行動の時空間パターン 田中広太郎
15:15	118 沖底の網口高さ拡大に関する模型実験 吉田太輔	218 洗浄肉の塩漬時のタンパク質濃度と塩溶解性 奈須亮耶	317 逆方向性転換時のセルトリ細胞の動態 野津 了	418 アユ種苗2系統の特性評価 寺本 航	518 アオウミガメの背甲画像による自動個体識別 田吹耕平

3月27日（金）午後（前半）

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
					13:00
					13:15
611 改良型クライゼル水槽内流れ場の可視化 <p style="text-align: right;">山口勝海</p>	711 アコヤガイ白色変異体の原因遺伝子探索 <p style="text-align: right;">堀田大樹</p>	810 藻類ブルーム後の原核生物群集の遷移機構 <p style="text-align: right;">武部紘明</p>		SDG06 Physiology of Bleaching and Recovering Corals under aquarium condition <p style="text-align: right;">Satoshi Kubota</p>	13:30
612 ブリ・カンパチ仔魚の走光性の発育変化 <p style="text-align: right;">水島優芽</p>	712 アコヤガイ貝殻白色化原因遺伝子の同定 <p style="text-align: right;">竹内 猛</p>	811 クルマエビ類の消化管内細菌 <p style="text-align: right;">今泉健太郎</p>		SDG07 Numerical simulation of sediment AVS from marine milkfish cage culture <p style="text-align: right;">Joemel G. Sumbing</p>	13:45
613 ブリ仔魚体比重の発育、昼夜変化 <p style="text-align: right;">澤田好史</p>	713 外套膜萎縮アコヤガイのSMP 遺伝子発現 <p style="text-align: right;">佐野菜採</p>	812 PHBH 構成脂肪酸による病原細菌抑制効果 <p style="text-align: right;">高木ふみ華</p>		SDG08 Ontogeny of Japanese flounder (<i>Paralichthys olivaceus</i>) <p style="text-align: right;">Tran Nguyen Duy Khoa</p>	14:00
614 低水温下でのクロマグロのエネルギー収支 <p style="text-align: right;">沖田光玄</p>	714 アワビ類3種の種分化プロセスと遺伝子コピー数多型 <p style="text-align: right;">平瀬祥太郎</p>	813 殺藻細菌からの活性物質の同定と機能解析 <p style="text-align: right;">陳 樹河</p>		SDG09 Effects of sucralose on dopaminergic and serotonergic neurons during early development of zebrafish <p style="text-align: right;">Muhammad Ahya Rafiuddin</p>	14:15
615 水温を変えたクロマグロの初期飼育 <p style="text-align: right;">宮崎悠暉</p>	715 ウナギ仔魚期間のゲノム育種価予測 <p style="text-align: right;">石川 卓</p>	814 新奇一酸化炭素酸化好熱菌の発見 <p style="text-align: right;">井上真男</p>		SDG10 Visualization of swimming behavior of barley shrimp By PIV <p style="text-align: right;">Yongbeom Pyeon</p>	14:30
616 活魚選別器を用いたスマの選別効果 <p style="text-align: right;">中島兼太郎</p>	716 染色体規模のゲノムアセンブリ <p style="text-align: right;">工樂樹洋</p>	815 海洋細菌培養株の有機亜リン酸化合物利用能 <p style="text-align: right;">浦田真平</p>			14:45
617 スマ稚魚の共食い防除効果の検証 <p style="text-align: right;">壺田峻希</p>	717 TTX 保有ヒラムシのドラフトゲノム構築 <p style="text-align: right;">米澤 遼</p>	816 Bacterial communities in the Ofunato Bay <p style="text-align: right;">Atsushi Kobiyama</p>		SDG11 Mass culture of rotifer using probiotics <p style="text-align: right;">Robert N. Kagali</p>	15:00
618 サケ稚魚の健苗性評価手法の検討 <p style="text-align: right;">長坂剛志</p>	718 ヒラムシ眼位異常因子のゲノムワイド解析 <p style="text-align: right;">澤山英太郎</p>	817 大船渡湾における細菌のメタゲノム機能解析 <p style="text-align: right;">工藤俊章</p>		SDG12 Toxicity effects of iron on survival of rotifer at different growth stages <p style="text-align: right;">Chengyan Han</p>	15:15

3月27日（金）午後（後半）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
15:30	119 小型底曳網漁業の漁具改良による漁獲物変化 阿部日向大	219 魚の皮膚を介した酢酸の浸透と殺菌効果 関戸章人	318 マイワシの卵巣発達に伴う遺伝子発現動態 入路光雄	419 ニジマスとブラウントラウトの侵略性 長谷川 功	519 メコンオオナマズの絶食を伴う摂餌周期 池谷幸樹
15:45	120 さけ・ます流し網の代替曳き網漁法の開発 上野康弘	220 ミトコンドリアのメトミオグロビン還元機構 徐 燕麗	319 マサバ LPXRFa の機能 大賀浩史	420 MHC 遺伝子と配偶者選択の関係 安田博貴	520 安定同位体によるメコンオオナマズの食性解析 目戸綾乃
16:00	121 リサイクル糸の物性 熊沢泰生	221 キトサンと抗酸化物によるホタテの酸化抑制 Zi-Xuan Wu	320 プリ catE-like と D の発現動態 薙平裕次	421 雌が複数雄の精子から享受する利益の検証 牧口祐也	521 チャネルキャットの産卵場特定の試み 高木淳一
16:15	122 タイ国沿岸における刺網漁業の季節変化 江幡恵吾	222 タラ肉・大豆油エマルジョンの3Dプリント Xiang Li	321 チョウザメ類における hsd17b12 の酵素活性解析 長谷川祐也	422 体サイズの違いによるアマジ稚魚の放流効果 菅原和宏	522 国産の照度ロガー開発の現状 野田琢嗣
16:30	123 ビデオカメラが捉えた餌を奪うオキゴンドウ 小島隆人	223 ナマコ体壁の物理特性とボイル条件の関係 Xiu-Ping Dong	322 GFP 産生 EK1 細胞の作製 陳 顧慧	423 アマジ稚魚のケンサキイカによる被食 高橋素光	523 クロマグロの群れ内の3次元測定手法の確立 板谷佳美
16:45	124 オキゴンドウが食害の際、頭部を残す理由 池上喜將	224 乾燥ナマコの諸性状とマイクロ波乾燥の影響 Sha-sha Cheng	323 生殖細胞欠損ニジマスの代理親魚への利用 藤原 亮	424 アマジの成育場としての北部薩南海域の評価 中屋 慧	524 キジハタ人工種苗の行動追跡 飯野浩太郎
17:00	125 通電鎮静活メ法における電極工夫・身色変化 小島沙都	225 焙煎イカ炭素微粒子の性状とアルブミン結合 Ronggang Liu	324 高い生着能を有する精原細胞濃縮法の開発 海野太一	425 レプトの出現状況と食性 神野 智	525 アカムツ種苗の沖合での放流直後の水平移動 福西悠一
17:15	126 SI と砕氷の使用によるの魚体温度変化の比較 藤井陽介	226 硫酸溶液浸漬による魚ゼラチンゲルの強固化 Hong-Rui Chen	325 代理親魚技法によるクロマグロ精子の生産 川村 亘	426 夏季の丹後海の浮遊仔魚の水平・鉛直分布 中島広人	526 浮魚礁の沈み込みが及ぼす蛸集魚への影響 浅井咲樹
17:30		227 The dual effects on the gel properties Qi Hang	326 ゲノム編集によるアルビノマサバの作出 長谷川二己	427 動物プランクトン群集の個体数と生物量 西内 耕	
17:45			327 ピンスポット照射によるアルビノマサバ飼育 長谷川二己	428 マグロ・カツオ類仔魚の時間帯・水深別分布 田邊智唯	

3月27日（金）午後（後半）

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
619 サケ稚魚の成長・代謝と水温との関係 及川 仁	719 Evolution of sex chromosome Kabir Ahammad	818 大船渡湾渦鞭毛藻関連微生物メタゲノム解析 Shugo Watabe		SDG13 Methanotroph meal as an alternative of fish meal in yellowtail diet Amal Biswas	15:30
620 PEG 添加によるクエ仔魚の浮上死の軽減 中田 久	720 超雄精原細胞由来卵の発生異常と原因遺伝子 宮本祥徳	819 大船渡湾海底泥メタゲノム微生物叢解析 Yuri Ikeda		SDG14 Dietary Nucleotides Asep Ridwanudin	15:45
621 大型シロギスの養殖 8- 短軀症と発現要因 藤川稔晃	721 トミヨ属マイクロサテライトマーカー開発 山口光太郎	820 アンモニア酸化古細菌が酸性化を緩和する可能性 和田 実		SDG15 Yellowtail kingfish culture in China Yongjiang Xu	16:00
622 マダコ 5 マダコ幼生へのワムシ添加・吹付量 竹島 利	722 ブリ属比較ゲノム解析 車 遥介	821 計量魚探機による魚類の分布深度・現存量観測 広瀬美由紀			16:15
623 マダコ種苗生産水槽の流場制御 井上誠章	723 <i>Nannochloropsis</i> の遺伝子改良株作成と餌料効果 杉原慎二	822 RP 遺伝子に基づくビブリオの分子系統 田仲真実		SDG16 Parallel Genomic Targets of Selection in Diversifying Arctic Charr Kevin Schneider	16:30
624 マダコ種苗生産に用いる大型飼育装置の開発 亀井良則	724 TILLING 法による有用変異トラフグの作出 黒柳美和	823 珪藻メタボロミクス 羽野健志		SDG17 Molecular Identification of "Abo" from San Miguel Bay, Philippines Teresa N. Avila	16:45
625 脱皮しても脱落しない外部標識トラモアタグ 佐藤 琢	725 致死遺伝子に対するノックイン法の開発 村上 悠	824 瀬戸内海の植物プランクトンサイズ組成変化 松原 賢		SDG18 Species Composition of Anguillids Along Lagonoy Gulf, Philippines Katrina L. Canon	17:00
626 閉鎖循環による琵琶湖産アユ種苗の飼育 山本充孝	726 ミオスタチン欠損マダイ稚魚の飼育成績 家戸敬太郎			SDG19 Sea Cucumber Dynamics in Southern Sri Lanka Senevirathna J.D.M.	17:15
627 置土によるアユ生息環境改善の試み 寺門弘悦	727 ミオスタチン欠損マダイ若魚の飼育成績 鷲尾洋平			SDG20 Analysis of reproduction and "minor" spawning in <i>M. yessoensis</i> Mariia Mokrina	17:30
				SDG21 Vertical Distribution of Antarctic silverfish in the Ross Sea Byeongjo KANG	17:45

3月28日（土）午前

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00	127 琵琶湖南湖におけるシジミ稚貝の季節変動 石崎大介		328 ウニにおける COUP-TF の機能解析 北野雄大	429 ナミハタの繁殖回数と体脂肪率 奥山隼一	527 天然と養殖ウナギの活動量の差異 渡邊 俊
9:15	128 琵琶湖産アユにおける漁法別の孵化日組成 松田直往		329 ウニ新規卵黄タンパク質の発現解析 由比智春	430 マダラの成長・回遊 佐久間 啓	528 ニホンウナギの天然魚と養殖魚の行動 八木智也
9:30	129 琵琶湖産アユの初期成長と不漁との関係 久米弘人	228 加工したカニアレルゲンの微量定量系の構築 平野秀幸	330 カミナリイカの性成熟と GnRH 村田良介	431 太平洋北部におけるヤリイカの孵化時期推定 時岡 駿	529 石倉カゴにおけるニホンウナギの行動解析 鶴江智彦
9:45	130 琵琶湖南湖におけるホンモロコの産卵回復の要因 米田一紀	229 塩汁の保存条件が塩汁と塩干品に与える影響 山崎資之	331 ホタテガイ血球の解析と造血組織 長澤一衛	432 サンマとマイワシの競合 富士泰期	530 ニホンウナギの河川内移動に対する堰の影響 久米 学
10:00	131 半開放水域へのホンモロコの放流効果 米田一紀	230 乳酸菌を用いた魚醗酵食品のアミン蓄積抑制 Chao-Fan Ji	332 ヤマメ仔稚魚期の海水経験による成長促進 宮西 弘	433 日本近海のムツ属魚類の生態に関する研究 尾山 輝	531 移送放流後のニホンウナギの行動 中山直生
10:15	132 サケの不漁年級の初期成長特性 本多健太郎	231 硫酸多糖類と Cd との結合と毒性 Hai-tao Wang	333 トラフグのフグ毒摂取と塩分ストレス 竹重璃世	434 大阪湾タチウオの食性 木村祐貴	532 放流ウナギの河川生態 脇谷量子郎
10:30	133 ホッケの産卵・初期生態 的場成紀	232 アニサキスの簡易迅速な種判別法の開発 末武弘章	334 地下水水ギンザケ陸上飼育システム 上田 宏	435 ヒメスマエビの2型と遺伝的集団構造 荻野洸二	533 屋久島・種子島のウナギ属魚類の加入と行動 熊井勇介
10:45	134 ホッケ0歳魚および成魚の時空間変化 森田晶子	233 メチル水銀の吸収阻害 安藤正史	335 能登海洋深層水の魚類生理に対する影響 鈴木信雄	436 集団固有 FST と集団対 FST 北田修一	534 石倉カゴの効果検証 6: ウナギモニタリング 望岡典隆
11:00	135 スケトウダラ稚魚の被食量 納谷晃弘		336 ニホンウナギの変態期における個体発達過程 畠山 類	437 集団の歴史と分化、環境適応の推測 中道礼一郎	535 石倉カゴの効果検証 7: 黄ウナギの移動性 松重一輝
11:15	136 陸奥湾におけるカナガシラの年齢と成長 神山晃汰		337 ニホンウナギの変態期の網羅的遺伝子解析 須藤竜介	438 栽培漁業の教訓 北田修一	536 石倉カゴの効果検証 8: シェルター効果 坂上 嶺

3月28日（土）午前

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
628 魚類摂餌状態の遺伝子発現動態への影響 近藤秀裕		825 <i>Chattonella antiqua</i> の活性酸素産生 湯浅光貴		SDG22 Effect of isothermal treatments on fishy odor in fish mince Praew Phermthong	9:00
629 フェルラ酸によるカンパチの冬季成長遅滞の改善 森村健人		826 <i>C. marina</i> の抗酸化酵素遺伝子発現 向井幸樹		SDG23 Foreign visitors to Japan and the Japanese seafood industry Naohiko Watanuki	9:15
630 カンパチ稚魚における植物発酵物の影響 横山佐一郎		827 有害種検出センサーを用いたモニタリング 井口大輝		SDG24 Materialization of functional sea food Daeung Yu	9:30
631 低魚粉飼料への植物発酵物の添加効果 大石拓弥		828 赤潮藻の遺伝子発現 紫加田知幸			9:45
632 異なる給餌方法で飼育したスジアラの解析 馬久地みゆき		829 光が <i>K. mikimotoi</i> ウイルス感染に与える影響 中山奈津子		SDG25 Fisheries portfolio diversity & socioecological resilience in NE Japan Raphael K. Roman	10:00
633 養殖ブリに対するアセロラ添加の褐変抑制効果 有路昌彦		830 日本産アンフィドマ科渦鞭毛藻の系統 岩滝光儀		SDG26 Multi. diversif. strategies raise fish. resilience along Iwate coast Raphael K. Roman	10:15
634 マダイ稚魚における DHA レシチンの影響 横山佐一郎		831 底棲性渦鞭毛藻群のアコヤガイに及ぼす影響 樋口恵太		SDG27 Review of technologies to improve fisheries management Travis C. Tai	10:30
635 ヒラメ稚魚におけるシステイン酸経路の解明 中村康平		832 赤潮藻 <i>A. leei</i> の定量 PCR 法の開発 足立真佐雄		SDG28 The visualization of the tacit knowledge of the fisherperson Yasuo UTSUMI	10:45
636 ニジマスへのホタテウロエキスの添加効果 佐藤敦一		833 毒化比較による生産海域区分分割の検討 小川健太		SDG29 fisheries resource survey by using the fast interval echosounder, AquaMagic Ikuro Matsuo	11:00
637 サケ稚魚に対するウロエキス添加効果 山崎哲也				SDG30 Development of Electronic Fishing Log Monitoring System for TAC management Kwangbok Kim	11:15

3月29日(日)午前

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00	137 定置網で漁獲されたコシナガの年齢と成熟 岸 凌太	234 テトロドトキシン類緑体の定量とNav阻害活性 山下まり	338 外温性魚類の体温と心拍数 中村乙水	439 スルメイカの成長に伴うかたちの変化 内川和久	537 琵琶湖コイの長期テレメトリ追跡 吉田 誠
9:15	138 大型フェエキダイ属の適正な漁獲開始尾叉長 下瀬 環	235 コルヒチンのサキシトキシン生成への影響 長 由扶子	339 マサバ仔稚魚の成長速度と遊泳速度の関係 中村政裕	440 赤道イカの種判別 若林敏江	538 降海型アメモスの越冬様式 黒田充樹
9:30	139 沖縄県読谷村の大型定置網の長期の漁獲傾向 加藤美奈子	236 <i>B.braunii</i> S品種の炭化水素分析 上杉一馬	340 汽水域におけるクロダイの淡水利用率の変化 安田皓輝	441 ヒメイカ近縁種の繁殖生態 山田瑞季	539 キンメダイの日周行動 米沢純爾
9:45	140 日本海南西部のキダイの分布と環境要因 川内陽平	237 深海カイメン由来の新規な環状ペプチドに関する研究 田 添	341 サケのNKA α サブユニット遺伝子の発現 野畑重教	442 トラフコウイカにおける情動と共感性 池田 譲	540 カンパチの水平・鉛直分布特性と生息環境 刀祢和樹
10:00	141 2001年～2019年のスルメイカ北上期調査 有馬大地	238 ノルトプセンチンBダイマーの単離 中迎菡平	342 メダカ稚魚の発育に伴う社会性行動の変化 加川 尚	443 アオリイカの群れ行動と視覚的左右性の発現 櫻井裕真	541 産卵期のカンパチに見られた特異的鉛直遊泳 富崎雅規
10:15	142 マイワシの産卵位置・日重心と加入量 北島 聡	239 新規環状ペプチドの単離と構造 神吉大地	343 メダカの視感度特定の解明 早坂央希	444 深層学習を用いたコウイカの自動体色検出 岡本光平	542 魚類リポカリンによる白点虫感染防除機能 高井優生
10:30	143 レジームシフトに伴って変化する再生産関係 鈴木一平	240 ゼラチン乳化系の抗酸化物質の安定的配送 Yue Tang	344 マダイ稚魚の記憶への反復訓練と睡眠の影響 戸矢 樹	445 カクレダコの視覚と触覚による多感覚知覚 川島 董	543 アルギン酸由来不飽和単糖の酸化代謝 井上 晶
10:45	144 生物特性の管理基準値や禁漁水準への影響 境 磨	241 キグチ卵巣由来のタンパク質の各種機能性 Yi-Nan Du	345 成育環境が魚類稚魚の脳に及ぼす影響 辻村裕紀	446 イカ類認知能検証への光ファイバーの有効性 杉本親要	544 魚類筋肉の死後pHに及ぼすAKおよびAMPDの影響 荒井健太
11:00	145 自主的IQの可能性 辻田崇宏	242 パルス電場処理とエビペプチドの抗酸化 Shu-Yu Zhang	346 放流サケ幼稚魚のシナプス関連遺伝子発現 阿部嵩志	447 飼育下におけるイセエビの音響生態の観測 中野 豪	545 オキシミオグロビンと酸素分子の相互作用 小澤秀夫
11:15	146 英米における漁獲情報収集システム 半沢祐大	243 ナマコ由来ペプチドの亜鉛結合の同定と特性 Xiaoyang Liu	347 ウナギの網膜投射および視覚上行路 萩尾華子	448 長崎県上五島におけるイセエビの移動追跡 佐々木幾星	546 褐虫藻のプロテオーム解析 神保 充

3月29日（日）午前

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
638 NPY・c-Fosのアミノ酸への嗅覚応答 泉水彩花	728 Expression of GcR in flounder Naomi Hadisumarto	834 震災後の女川湾底質化学物質の分布と変動 山口敏康			9:00
639 EP飼料に対する炭素粉末の薬剤展着効果Ⅱ 中路貴大	729 キジハタ LAO の性状 木谷洋一郎	835 福島県魚介類の採取位置と放射性 Cs 濃度 鈴木翔太郎			9:15
640 ギンザケの生化学的バイオマーカーと化学物質 中野俊樹	730 キジハタ LAO の産生 小坂優斗	836 福島県沿岸域の海産7魚種の放射性 Cs 濃度 天野洋典			9:30
641 骨なし魚の養殖技術と食味評価 杉浦省三	731 メラノマクロファージは末梢血由来か？ 林 忠弘	837 魚類の ¹³⁷ Cs 濃度 重信裕弥			9:45
642 海産魚サンマは完全な DHA 合成経路をもつ 松下芳之	732 ニジマスの形質細胞 原田理沙	838 ウグイ放射能飼育試験 遠藤雅宗			10:00
643 大型シロギスの養殖9-コルチゾルと短軀症 鶴巻佑介	733 IgT の常在細菌叢制御 瀧澤文雄	839 除染前後のため池内魚類の放射性セシウム 薄 実咲			10:15
644 環境制御によるクロマグロの早期産卵誘導 樋口健太郎	734 IL17RA 変異メダカ腸管の RNA-seq 解析 岡村 洋	840 放射能汚染指標と魚類 ¹³⁷ Cs 濃度の関係 舟木優斗			10:30
645 クロマグロ未成年魚の生殖腺の発達 林田貴雄	735 メダカ TLR9 遺伝子の概日リズム発現 多比良元輝	841 河川の放射能汚染指数の提案 寺本 航			10:45
646 ニジマスの成長と海水適応性 塩谷一樹	736 軟骨魚類自然抗体の抗原結合能の生息地域差 藤村拓実	842 阿武隈川における Cs - 137 の季節変動 森高祥太			11:00
647 ホシガレイ稚魚の低塩分飼育 大野健一					11:15

3月29日（日）午後（前半）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
14:00					
14:15					
14:30					
14:45					
15:00	147 空間操業分析と最適化航海探求 佐々木皓文	244 ベトナム産サバフグ属の毒含量 Thuy Linh Vu	348 食物網構造から評価する琵琶湖北湖の健全性 山口達成	449 イシガニによるウニの捕食 八谷光介	547 イカのタウリン生合成酵素活性 松本拓也
15:15	148 「成長産業」としての漁獲漁業の条件 石村学志	245 ふぐの子糠漬けに含まれるTTX分析 渡邊龍一	349 外来種モニタリングへのeDNA分析の応用 水田颯生	450 Failed establishment in Japan 張志新	548 イカヘモシアニン分子進化と酸素結合能特性 加藤早苗
15:30	149 地域漁業・多魚種漁獲ポートフォリオ研究 中村洸介	246 雑種フグの外見的特徴と分泌腺の探索 辰野竜平	350 東京湾における環境DNAと漁獲調査との比較 小林龍史	451 大植湾におけるエゾヒトデの餌生物組成 早川 淳	549 甲殻類黒変原因酵素の解明 増田太郎
15:45	150 三陸の漁獲漁業可能性と水産加工業の課題 川村 慧	247 ヨーロッパザラボヤ生態制御物質の探索 宮古 圭	351 環境DNAと人工衛星画像による地先の海調べ 清野聡子	452 ツメタガイにおけるアサリへの誘引 本野由惟	550 マガキチョーク層特異的なタンパク質の解析 岩本しほり
16:00	151 制度的なフィットの視点から日本の漁業管理を考える 石原広恵	248 熱風乾燥ダルスからの炎症成分の分画抽出 岸 夏海	352 マアジ長鎖環境DNAの効率的回収 徐 寿明	453 ミルクイの年齢と成長 片山知史	551 ホタテガイ副次産物由来油脂の健康機能性 杉本光輝
16:15	152 アメリカ西海岸における漁業者の操業意思決定モデル 阪井裕太郎	249 ヒメジャコ外套膜における紫外線吸収物質の局在研究 池田広樹	353 イカナゴ環境DNA検出系の開発 高橋正知	454 マナマコの季節的な行動-I 酒井勇一	552 ヒト試験によるホタテオイルの安全性評価 萩原 希

3月29日（日）午後（前半）

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
					14:00
					14:15
					14:30
					14:45
648 消化管内容物などの遺伝子解析 奥村 裕	737 魚類原虫殺傷機構におけるシグナル伝達経路 助田将樹				15:00
649 漁港の未利用低利用水域を活用したカキ養殖 緒方悠香	738 アユのサイモサン結合性レクチンの機能解析 長澤貴宏				15:15
650 宮古湾でのマガキ養殖に関する研究 白藤徳夫	739 トラフグ寄生虫は糖で宿主を認識するのか？ 佐藤楽生				15:30
651 諫早湾のマガキ養殖場における付着防止対策 高澤紘司	740 遺伝子型の異なる冷水病原菌のアユへの病原性 新井 肇				15:45
652 マガキ人工採苗におけるケアシエルの有効性 加川真行	741 エドワジェラ症に対するオリゴ糖の感染防御 菅沼千暉				16:00
653 マガキ稚貝のケアシエルからの剥離法の検討 加川真行	742 DNA ワクチンが誘導する獲得免疫の評価 佐藤雅哉				16:15

3月29日（日）午後（後半）

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
16:30	153 沿岸漁獲統計 平野詩織	250 藍藻 Moorea のバイオサー ファクタント 沖野龍文	354 環境 DNA による函館湾の 魚類群集解析 笠井亮秀	455 マナマコの季節的な行動 - II 篠野恵利香	553 原生生物培養通気量変化に よる脂肪酸組成 松浦裕志
16:45	154 消費魚種の多様度の空間的 自己相関 大石太郎	251 漁期中のパフンウニの苦味 の原因 仲野大地	355 河口域魚類群集と陸域との 関係 山下 洋	456 岩手県アマモ場の餌環境と 魚類の食性変化 舟山凌太	554 n-3 PUFA-PG の合成と肝臓 脂質低下 細川雅史
17:00	155 クロマグロ県別グルーピン グ 鶴巻裕輝	252 ムール貝の窒素含有成分の 周年変化 平林眞弓	356 河口域魚類群集と底層溶存 酸素濃度 小林志保	457 ガラモ場におけるワレカラ 属の食性 山元拓実	555 ガンガゼ生殖腺の脂質性状 川口 巧
17:15	156 マグロ類の需要体系分析 細川夏希			458 二枚貝浮遊幼生の食性解析 伯耆匠二	556 スタウナギ脂質のフラン脂 肪酸分析 内田 肇
17:30	157 生活者による殻付カキの外 観品質評価 宮田 勉			459 浮遊珪藻群体の二枚貝に対 する被食防御効果 清水 卓	
17:45	158 日本水産業界での MSC 認 証：課題と機会 ブランドンアビゲイル			460 海水珪藻の <i>rbcL</i> 配列と被殻 形態による種同定 内田英伸	

3月29日（日）午後（後半）

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	
654 2～3mm人工種苗と被覆網によるアサリ育成 山田英俊	743 フグウオジラムの宿主認識 関連遺伝子の探索 田角聡志				16:30
655 アサリ稚貝の垂下式中間育成 伊藤 篤	744 クルマエビ免疫様現象-1 米加田 徹				16:45
656 新規なアゲマキガイ保護区 の検証 折田 亮	745 クルマエビ免疫様現象関連 因子探索 佐藤 純				17:00
657 バフンウニ養殖用の餌とし て適切な海藻候補 仲野大地	746 クルマエビのWSD耐性の 家系間差 菅谷琢磨				17:15
658 ワカメ養殖場における低コ スト表層水温ブイ 手塚尚明					17:30
659 ソロモンナマコ資源評価・ 天然採苗 谷田 巖					17:45

ポスター発表 I 3月27日(金)

第9会場

掲示：11:00～15:00

討論：11:30～12:30(講演番号奇数), 12:30～13:30(講演番号偶数)

9001 ナイロンテグス網地の強度及び流体力特性 齋 鴻源	9002 次世代型かつお自動釣機の開発 木村拓人	9003 定置網漁業における収益改善方法の検討 日高浩一	9004 ウリン製人工魚礁の観察 吉田元彰	9005 高知・和歌山海域での寶石サンゴ出現状況 林原 毅	9006 設置型汎用魚群による沿岸資源モニタリング 岩原由佳
9007 冬期アラスカ湾におけるサケの系群組成と豊度 佐藤俊平	9008 クロマグロ3歳魚の成長年変動要因 平岡優子	9009 アカマンボウの種名の検討 柳本 卓	9010 The genes cloning of tropomyosin from sturgeons 黄 銘志	9011 Taiwan sakura shrimp parasite analysis 吳 昭信	9012 A new bopyrid isopod on shrimp from Taiwan 陳 聖逸
9013 The new host of <i>Parapenaemon tertium</i> 羅 偉軒	9014 濾胞状塩類細胞の機能形態学的検証 染谷友美子	9015 ウナギ卵巣での酸化防御機構の解析 楠目峻大	9016 ウナギ成熟精巣のステロイドホルモン産生 鈴木博史	9017 マコガレイ仔稚魚期における光受容システム 笠木 聡	9018 タギベラにおけるヘム代謝関連物質の比較 塚本 玄
9019 ニシキゴイ生殖腺分化過程での遺伝子発現 荒井那允	9020 タイラギ vasa 遺伝子の同定と発現解析 前田 雪	9021 東日本大震災の影響と女川湾海洋生態系動態 藤井豊展	9022 耳石薄片法によるニギスの成長 吉川 茜	9023 野生の血は河川回帰率を向上させるか? 佐橋玄記	9024 環境 DNA 分析による鯨類の検出 工樂樹洋
9025 アユにおけるグルコース吸収能の検討 川田成海	9026 標識放流したサケの回遊行動 實吉隼人	9027 シロギスの食物供給源 金子健司	9028 <i>E. japonicus</i> 個体群動態の物理的障害の影響 Liang-Hsien Chen	9029 灰塚ダム湖における陸封アユの周年動態 田中智美	9030 根室海峡におけるシャチの採餌場所の推定 菌部のぞみ
9031 鹿児島湾におけるオオモンハタの成熟 森年エマ日向子	9032 リュウキュウアユ仔稚魚の成長について 森脇隆之介	9033 アサリの貝殻形成異常とその微細構造の特徴 藤野くるみ	9034 二枚貝が底質に与える影響 土屋 渚	9035 網走湖シジミ産卵生態 園田 武	9036 アンモニアがヤマトシジミに及ぼす影響 松田烈至
9037 線虫の生理・生化学解析に向けた試料調製手法 和田 実	9038 ナンノ Δ CESA の性状とその給餌効果 松井英明	9039 テトラセルミス凍結解凍細胞のサイズ 徳田雅治	9040 アルテミア個別採卵 徳田雅治	9041 サクラマス好適種苗選別方法の検討 植松康成	9042 栄養強化ワムシがキジハタ仔魚に与える影響 町 敬介
9043 スジアラの二次開腔と前彎症出現率の推移 篠田理仁	9044 ブリ人工種苗の開腔と形態異常の確認 篠田理仁	9045 正方形水槽内の流れの可視化実験 角田哲也	9046 駆虫処理が海水適応能に与える影響 橋本龍治	9047 ウニ殻ロープによる養殖ホソメコンブ生長検証 柵瀬信夫	9048 Salinity and turbidity stress on red sea bream Takao Yoshimatsu
9049 Effects of salinity on Japanese flounder Takao Yoshimatsu	9050 GCOM-C/SGLI による餌料環境評価 関澤彩真	9051 岩手県のアサリの成長と遺伝的集団構造解析 足立賢太	9052 海水飼育個体から継代したサツキマスの成長特性 今井 智	9053 超多検体 RNA-seq ライブラリ調整法 小山 喬	9054 岩手サクラマスの春・秋廻上集団の遺伝特性 塚越英晴

9055 クルマエビの性連鎖マーカーによる性比解析 伏屋玲子	9056 ニジマス表皮細菌叢の解析 山田尚毅	9057 養殖漁場マイクロコズムの底質と乳酸菌数 永田恵里奈	9058 ストレス耐性酵母における糖蜜発酵への利用 内藤友香	9059 芳香族炭化水素分解菌とその酵素系の解析 山本汐音	9060 酵母の抽出脂質によるアルカリ耐性能の向上 内藤友香
9061 海水中細菌の出現頻度への配合飼料の影響 山崎 剛	9062 マイクロプラスチックの魚体内滞留時間 大久保信幸	9063 マイクロプラスチックの生物濃縮 大嶋雄治	9064 Effects of sucralose on dopaminergic and serotonergic neurons during early development of zebrafish AFM Arifur Rahman	9065 共生褐虫藻により変動するサンゴタンパク質 吉野真由	9066 DNMT 阻害による魚類線維芽細胞への影響 金谷夏幸
9067 低塩分飼育マダイの外傷部で発現する遺伝子 山本千里	9068 マイクロ流路チップによる水産生物細胞解析 小祝敬一郎	9069 魚類由来培養細胞株 EPC の老化耐性機構 二見邦彦	9070 ニジマスの IGF 結合蛋白-2b のゲノム編集 羽原史織	9071 マガキの垂下水深の違いが呈味に及ぼす影響 外川柚理	9072 LEDによるヘマトコックス培養条件の検討 綿野桂人
9073 ナマコレトルト加工品のテクスチャ 田代有里	9074 LED光源小型分光測定器による脂肪測定 山内 悟	9075 ultra-high pressure treatment Ryu Si-Hyeong	9076 低利用魚を原料とした無さらしすり身様素材 村田裕子	9077 Tuna Skin Gelatin Capsule Yoshihiro Ochiai	9078 明太子加工残液からの可食性フィルム作製 谷口成紀

ポスター発表Ⅱ 3月29日(日)

第9会場

掲示：11:00～15:00

討論：11:30～12:30(講演番号奇数)，12:30～13:30(講演番号偶数)

9079 山口県瀬戸内海域で漁獲されるハモの食性 國森拓也	9080 八戸におけるアブラツノザメの漁獲物特性 三澤 遼	9081 オホーツク海のズワイガニ分布の春秋差 濱津友紀	9082 天然ウナギ資源の保護再生デザイン-13 柵瀬信夫	9083 Analyze the eel larvae migration with KC change 侯 清賢	9084 画像計測による養殖生簀内の養魚の成長予測 古田直哉
9085 ステレオカメラによる3次元魚群行動計測 三谷直史	9086 養殖マダイの滞在深度は偏っているのか？ 米山和良	9087 うなぎ石倉漁の現状把握 日比野友亮	9088 ニュースサイトの分析とブランド化の方向性 山中智之	9089 ミャンマーの水産業 多田 稔	9090 模型を用いた漁場管理学習の効果 宮本幸太
9091 「龍」の生物学的分析 黄 銘志	9092 女子学生の学科選択 笠井久会	9093 試料溶液中のスーパーオキシドセンサの評価 水野 伶	9094 魚類のための自家発電型バイオセンサの改良 沈 立航	9095 GnRHによる性分化と精子形成 尾定 誠	9096 抗体を用いたニジマス性成熟阻害 若山大介
9097 ヒメダカのカロテノイド蓄積と卵質への影響 天野春菜	9098 高水温環境でのクロマグロ成魚の行動特性 高原佑太	9099 海藻藻場とマングローブ域魚類の餌資源 南條楠土	9100 亜熱帯海藻藻場における魚類の食性 清水雅史	9101 サケ非放流河川に発見された放流魚について 越野陽介	9102 カツオの耳石輪紋の日周性検証の試み 藤岡 紘
9103 カサガイ群集に対する海洋酸性化の影響 今 孝悦	9104 昆布森沿岸域のサケ幼稚魚の食性と餌料環境 佐藤智希	9105 人工生産・天然イセエビの行動比較 義江健吾	9106 マレーシアのイルカの分布と環境 相良朋香	9107 メコンオオナマズの採餌生態 横山綾子	9108 メダカ群れの個体間距離変動特性 堤 叶恵
9109 クロマグロ仔魚の共食いサイズ 田中庸介	9110 飼育クロマグロ仔魚の脂肪酸組成 田和篤史	9111 福島県沿岸の底棲魚介類群集の時空間的特性 児玉圭太	9112 ホタテ養殖漁場サロマ湖のベントス群集 園田 武	9113 網袋を用いたアサリ稚貝の保護育成 北口博隆	9114 オオグソクムシのミトゲノム配列 川戸 智
9115 有明海佐賀県海域のタイラギ移植方法の検討 大庭元気	9116 カキ殻がアサリの加入におよぼす効果の検討 高橋宏司	9117 溶融スラグ上の底生生物相調査 津田颯太	9118 クラゲの仲間の光による体色変化 久志本鉄平	9119 岩手県のサケ由来の鮭真吸条虫の遺伝的特徴 小田 彩	9120 ハナゴンドウの水晶体を用いた年齢推定 前田ひかり
9121 飼育下バンドウイルカの肺胞内細菌叢解析 深石美里	9122 ブリにおける5つのCART遺伝子 深田陽久	9123 クロマグロ幼魚の消化生理と配合飼料 村下幸司	9124 シルクロースの養殖魚身質に与える影響 三浦 猛	9125 低魚粉飼料による餌付けの影響 吉永葉月	9126 消化態大豆粕の給餌効果 木原 稔
9127 成熟期アサリのGnRH・T・E2の変動 小島大輔	9128 北海道能取湖でのアサリの天然採苗と育成 秦 安史	9129 近赤外線照射サケ受精卵の孵化と稚魚の成長 志田 崇	9130 網袋を使ったマガキ身入り改善効果 近田靖子	9131 低塩分飼育によるハダムシ寄生拡大防除効果 森田哲男	9132 <i>N. girellae</i> ミトコンドリア新規配列 阿川泰夫

9133 サケ卵内の水カビと細菌類の局在性 大類穂子	9134 PZQ 経口投与によるヘテロボトリウムの駆虫効果 中路貴大	9135 クルマエビに対するプロバイオティクス効果 岡田 洸	9136 遺伝的不妊化トラフグの作出 黒柳美和	9137 スサビノリ野生株と外来遺伝子導入株の交雑 福田 覚	9138 Development of continuous shrimp cell line Thitiporn Thammasorn
9139 機械学習によるクルマエビ血球細胞集団分類 小祝敬一郎	9140 サケのふ化放流と資源の安定化 斎藤寿彦	9141 ウニの身溶けを簡便に評価する方法 鵜沼辰哉	9142 底生動物のプランクトンへの抑制的效果 伊藤真奈	9143 宮城県沿岸のまひ性貝毒とシスト 田邊 徹	9144 気仙沼湾奥の <i>Alexandrium</i> 属シスト堆積状況 他力 将
9145 培養細胞を用いた下痢性貝毒検出法 海野明広	9146 AZA2 標準品の製造に向けた <i>Azadinium</i> の培養 小澤真由	9147 二枚貝のフグ毒保有に及ぼすヒラムシの影響 岡部泰基	9148 Visualization of shrimp freshness Md. Mizanur Rahman	9149 処理方法の違いによるサクラマスの鮮度変化 小笠原聖佳	9150 三陸産養殖マボヤにおける鮮度保持の試み 武藤 章
9151 ティラピア皮むきフィラーの色調保持 落合芳博	9152 温度変更処理が冷凍魚肉の品質に及ぼす影響 西口修平	9153 鮭ずし乳酸菌のマウス腸内細菌叢への影響 伊藤理至	9154 マアジの自動脂質選別 那須春香	9155 マアジの脂質含量 漆間美季	

高校生による研究発表

期日：令和2年3月28日（土）

時間：10時30分～13時00分

掲示：10:00～13:00 討論：10:30～12:00

[討論時間：10:30～11:00（講演番号末尾A）、

11:00～11:30（講演番号末尾B）、

11:30～12:00（講演番号末尾C）]

会場：第9会場

2001A 魚の鱗の透明骨格標本からわかること 荒木紳之介	2002B 高校でできる魚の輪くぐり学習 神尾梨那	2003C 在来と外来ナマズの行動の相違点と環境適応 井副和貴	2004A チャネルキャットの腸長と食性 柳沼拓茂	2005B イヌザメ血清レクチンの構造・機能解析 鳥居爽花	2006C ヤマトサンショウウオのフェロモンと受容体 市橋優花
2007A カサゴ生殖腺の成熟と漁獲魚の雌雄比 山口伊歩樹	2008A ブラナリアの自切について 川村幸ノ介	2009B ブラナリアの核相判定法 斉藤圭祐	2010C ミステリークレイフィッシュの色覚調査 横田未翔	2011A 外来魚の体色変化に関する研究 所 陸斗	2012B ダンボールで白化ヒラメに色を付ける 浜端清志
2013C アオコのどの成分が金魚を赤くするのか 樋口倫太郎	2014A オレンジ色と緑色の光がクエに及ぼす影響 伊藤久範	2015A 光単一環境におけるマダイの色上げ効果 大瀧颯祐	2016B 光質が異なるLED照射下でのコンブ種苗の生長 丹野斗馬	2017C LED波長の違いによるサンゴの成長促進 平井亮太	2018A 小浜湾におけるイサザの生態調査 川淵 蓮
2019B マホロバサンショウウオの生活史の解明 竹内恒太	2020C トウキョウサンショウウオを守る 2019 福澤崇吾	2021A 和白干潟のカニと環境について 村田陸斗	2022A ハゼ科魚類とテッポウエビ類の共生について 田中慎之助	2023B イソギンチャクの生存戦略 笠井愛生	2024C マキガイイソギンチャクに関する研究 荒木宏太
2025A 造礁サンゴの白化メカニズム 齋藤 碧	2026B ブラナリアの野生生態 佐伯哲郎	2027C 大島におけるマガキの天然種苗生産について 淵上拓真	2028A アカムツ資源の保全を目指して 豊田湖季	2029A カワニナ養殖に有用な飼料の探求 谷田部俊之	2030B ヒラメ生産工場 金 駿
2031C 高校産サクラマス！2019 大井花純	2032A まくわうりを飼料に添加した養殖アユの研究 安藤巧真	2033B ブドウ糖添加飼料がマダイ稚魚に及ぼす影響 博多屋颯汰	2034C シベリアアチョウザメにおける大豆由来原料の消化性 岩崎 龍	2035A ヨシノボリとナガラシズクムシ 柴田峻一郎	2036A トビ棘口吸虫の生態の謎の解明 瓦田蒼良
2037B サバに寄生するアニサキスの特性 松下竜大	2038C 元気な魚を取り戻す～味で誤食を防ぐ生分解性ブラ～ 真庭唯花	2039A 瀬戸内海の島嶼部のMPの特徴について 赤木春香	2040B 長良川のマイクロプラスチック汚染の解析 高井 一	2041C 海底マイクロプラスチックの回収方法の開発 庭崎来未	2042A 海藻多糖類を用いた可食性フィルムの作成 房野太陽
2043A K値の経日変化 高野有希	2044B アルギン酸Naのゲル化 古泉空丈	2045C ストラバイト析出の原因を探る 浦田綾菜	2046A オイル産生藻類 大島悠加	2047B アカハライモリの幼生には毒があるのか 森住彩生	2048C 飯江川全域親水公園プロジェクト 松野有紗

2049A ニホンウナギのサンク チュアリ作り 久保まどか	2050A 旭川を天然ウナギがヤバ いほどいる川に！ 大平涼太	2051B 西田川に設置した石倉カ ゴのモニタリング 木原はづき	2052C 漁業の成長産業化～復活 の献上ガレイ～ 的場光生	2053A アカヒレタビラの保全に 向けて 叶 一希	2054B 万石浦（宮城県）の魚類 相の現在 小石川正将
2055C 長良川・揖斐川の魚類相 調査 天満陽奈子	2056A 長良川アユの仔魚の動態 と分布モニタリング 藤吉里帆	2057B クロゲンゴロウのプライ マーの設計 佐野孔亮	2058C トミヨの環境DNAの検 出方法などについて 草野剛志	2059A 環境DNAによるキタノ メダカの生息域調査 澤井奎治	2060B 福井県産ヨコハマシジラ ガイの生息状況 岡本聡真
2061C 干潟底生生物の調査・研 究 福本悠汰	2062A アサリ資源回復に向けた 調査・研究 福留吾夫	2063B おとめが池の珪藻 戸高零一郎	2064C アマモの減少を防げ 上川学斗	2065A 玄界灘におけるアマモの 特性について 重松慶太郎	2066B 流れ藻に付随している生 物の調査と利用 坪田綾太
2067C 万石浦におけるヒトデに よる食害調査 末永洋祐	2068A 真珠養殖の経営改善 吉村亮汰				